

発行 大阪市立中央図書館
大阪市西区北堀江4-3-2
電話 06-6539-3300
http://www.oml.city.osaka.jp



地域図書館の時間延長、利用者増える

平成15年6月に地域図書館の休館日と開館時間を変更しました。これまで第2・第4火曜日が休館日だったものを開館日とするなど開館日を増やし、開館時間の面ではすべての地域図書館で平日は午前10時から午後7時まで開館時間を延長しました。これと合わせて、読書相談・調査相談業務の充実と地域の情報拠点としての役割を果たせるよう体制の一部改編も行いました。

地域図書館が午後7時まで開館するようになってから1年半が経過し、その効果が目に見えるようになってきました。開館時間の延長による目立った変化として、土曜・日曜日以外にはあまり目に付かなかった仕事帰りの女性の姿が、平日の午後5時以降にもよく見受けられるようになったこと。これまで閉館間際に駆け込んで、あわただしく本を選んで借りていた保育所帰りの若いお母さん方が、子どもと一緒にあれこれ本を見比べながらゆっくり選ぶ姿や、小学校高学年の子どもたちや中・高校生の利用も多く見られるようになり

ました。特に子育て中のお母さん方の利用がこのところ目だって増加してきています。こうしたお母さん方からは「便利になった」、「使いやすくなった」と喜ばれています。

そのほか、予約されていた本の受け取りも、平日の夜間に来館される比率が増え、予約資料の効率的な利用もしていただけるようになったのではないかと考えています。

一方、成人男性の利用はやや増加傾向にあるとはいえ、まだ目立つまでにはいたっていないようです。今後も市民の皆様さらにお役に立てるよう、広く知っていただく工夫や努力を続けてまいりたいと考えています。



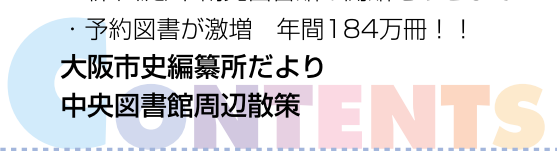
▲福島図書館にて

ニュース

- ・第7回大阪市図書館フェスティバルから
本のバザール・図書館探検隊 P2
- ・新 西淀川・鶴見図書館の開館をめざして P2
- ・予約図書が激増 年間184万冊！！ P3
- 大阪市史編纂所だより P3
- 中央図書館周辺散策 P4

シリーズ図書館めぐり

- ・中央図書館3階 P5
- ボランティアグループ紹介 P6
- 第2回イラストコンテスト開催 P6
- 図書館活用講座
- ・レファレンスサービス…ってなに？ P7
- イベントコーナー P8





第7回大阪市図書館フェスティバルから

11月6日(土)、7日(日)の2日間の日程で図書館での使命を終えた本を集め、利用者の皆様に再度ご利用いただくこと「本のバザール」を開催しました。7回目を迎えたこの行事は事前に申し込んでいただくのですが、人気があり、今年も平均して5倍の競争率の応募がありました。今年からインターネットでも応募できるようになり、申込者の半数の方が利用され、家庭でインターネットが普及していることを実感させられました。本を補充しながら各回とも1万冊



を提供し、その中からお一人に10冊まで選んでいただきましたが、ほとんどの方が9冊以上お持ち帰りになりました。2日間でより多くの方(約1000名)に選んでいただくために、色々と制約がありますが、参加者のご協力により、混乱なく好評のうちに終了することができました。お持ち帰りになられた方々の本棚で再び活用されることをうれしく思います。

また、11月7日(日)には中央図書館の内部を知っていただくこと、図書館探検隊が実施されました。地下深くに収蔵される100万冊の本、貴重な本が保管される秘密の部屋…普段見ることのできない図書館の裏側を一緒に探検しようと呼びかけ、午前午後各30名先着順で募集したところ、88名もの参加があり、午前1回、午後2回の計3回の実施となりました。“ぐりとぐら”のぬいぐるみを着た隊長を先頭に地下の書庫を探検しました。日頃見ることができない貴重な図書や引札*、木製(桐)の書架や集密書架(限られた場所により多くの資料を収容できる書架)など図書館の裏側を見ていただきました。

*明治期の広告・チラシ

新 西淀川・鶴見図書館の開館をめざして

平成12年度に基本設計、14年度から建設工事を進めていました両館では、工事もいよいよ最終工程に入りました。図書館では開館に向けて、備品類の選定や図書の収集作業を行っています。従前の2倍強と広がる閲覧室は、ゆったりとくつろげるブラウジングコーナーを設けるとともに書架間隔にもゆとりをもたせ、障害のある方や高齢者の方々にも使いやすい図書館となります。

開館は両館とも平成17年5月を予定しています。閲覧室も広くなる新図書館では、図書や雑誌・新聞の充実を図り、より幅広い資料・情報を提供するとともに、新たにCDの貸出を始めます。また、多目的室を活用した、読書会、子ども会、講演会、講座の開催などの充実にも努めます。さらに視力に障害のある方にご希望の資料を朗読する対面朗読サービスも開始します。

新しい図書館は、地域の生涯学習の基盤施設として、区内の関連施設とも連携を図りつつ、各種サービスの拡充を行い、特色ある、より地域に親しまれるみなさんの図書館を目指します。



鶴見複合施設建築風景(新鶴見図書館は1階部分)

予約図書が激増 年間184万冊!!

-スムーズな予約の流れにご協力を-

貸出中の資料や、本棚に見当たらない資料を予約するサービスは、インターネットや図書館内のOMLIS（利用者用端末）から直接予約付けができるようになってから、毎年25%以上増加しています（平成15年度 個人貸出冊数11,250,709冊、うち予約冊数1,840,328冊）。人気のある本に予約が集中し、半年以上お待ちいただく場合もありご不便をおかけしています。

図書館では同じ本を大量に購入するわけにもいきませんから、限られた冊数を順番待ちでお借りいただいていますので、月日がかかることをあらかじめご了承ください。

また、ご自身で予約付けされる場合は、内容や出版年などにご注意ください。予想されたものとは異なる資料に予約付けした結果、目的が達せられないことも多く見受けられます。さらに貸出冊数は8冊までのため、これを超えた数の予約資料が確保されても、一度にはお借りいただけません。ご自分の貸出状況をご確認の上、無理のない数でご予約ください。

なお、予約資料を取り置くのは、ご連絡した日の翌日から7開館日以内です。お早めに借りに来てください。取り置きした資料を借りに来られなかったり、次に予約がある資料を延滞されると、他の方のご迷惑になります。予約の円滑な運用にご協力をお願いします。



大阪市史編纂所だより



●『大阪の歴史』第64号、『大阪市史史料』第64輯を発行●

市史紀要『大阪の歴史』最近刊の第64号では、芸術家特集として「南木芳太郎なんぎ よしたろうと谷崎潤一郎たにざきじゅんいちろう—山村舞を中心として—」しませいえん「島成園一大正にきらめいた大阪の女性画家—」のほか、貴志康一きしこういち（音楽家）、織田作之助おださくのすけ（作家）に関する論文などを掲載しています。（定価735円・税込額）

『大阪市史史料』最近刊の第64輯「摂州西成郡江口村方記録」は、近世における淀川に面した農村である江口村（現東淀川区）の様子を記した貴重な史料5点を翻刻したものです。（定価1,890円・税込額）

これらの本は、市内主要書店で販売していますが、ご希望の方は、郵便振替で直接購入することができます（別途送料が必要）。詳しくは、大阪市史料調査会（TEL06-6539-3333）へお問い合わせください。大阪市史編纂所の刊行物などの詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。

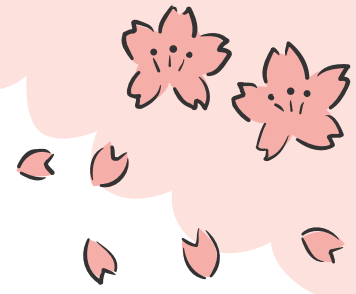


ホームページ <http://www.oml.city.osaka.jp/hensansho/>

お問い合わせ：大阪市史編纂所 電話 06-6539-3333

中央図書館周辺散策

一桜の名所・土佐稲荷神社一



大阪市立中央図書館の西側にある、土佐公園と土佐稲荷神社は、都会のオアシスのような
雰囲気、図書館での読書に疲れたときなど目や体を癒す格好の場所になっています。

江戸時代にはこの場所に土佐藩の蔵屋敷がありました。土佐稲荷神社は土佐藩の蔵屋敷に鎮守^{*1}として祀られていたものです。明和7年(1770)に京都の伏見稲荷神社から分霊^{*2}されて勧請^{*3}したといわれています。一般の人々の参詣も認めていましたので土佐稲荷と称されて人々の信仰を集めていました。蔵屋敷内には桜の木が植えられており、桜の名所として広く知られていました。

境内には江戸時代の俳人で、松尾芭蕉の門人宝井其角(1661~1707)の桜にちなんだ句碑があります。土佐稲荷に関係したものではなく、吉野山で花見をしたときの句です。

明治維新後、蔵屋敷は廃止になりましたが、神社は江戸時代同様に、桜の名所として親しまれました。その後第2次大戦末期の空襲で、社殿や桜の古木は焼失しました。戦後社殿は復興され、桜の若木も植えられ、江戸時代と同じように夜桜の名所として毎年ぎわうようになりました。

土佐稲荷神社には、明治維新の時の悲話があります。慶応4年(明治元年=1868)2月15日に堺で、土佐藩兵がフランス人水兵を11人殺傷する事件が起こりました(堺事件)。フランス側の強い抗議と圧力の前に、事件を起こした土佐藩兵20人を堺の妙国寺で切腹させることになりました。そこで藩当局は、切腹する20人を土佐稲荷神社の社前でくじ引きによって決めました。新政府の基盤が確立していなかったための悲劇でした。

土佐藩蔵屋敷には土佐商会という組織が幕末にできています。明治維新後も活動を続けていますが、そこで活躍したのが岩崎弥太郎です。蔵屋敷に対する政府の圧力が強くなると、岩崎は九十九商会をつくって事業を続けました。明治3年(1870)のことです。廃藩置県後、九十九商会は三ツ川商会と改称、明治6年(1873)には三菱商会となりました。その翌年明治7年(1874)には東京に本社を移転します。つまり、この土佐公園・土佐稲荷神社は三菱発祥の地であるわけです。神社の周囲にある玉垣^{*4}を見ますと、三菱ゆかりの名前が多いことに気づかれることでしょう。



写真 社務所併に婚儀殿全景

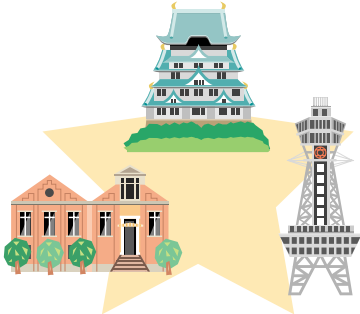
婚儀殿竣工記念写真(昭和10年)より
古川氏所蔵

- *1 その土地を鎮める神または社
- *2 ある神社の祭神の霊を分けること
- *3 神仏の分霊を願って迎え祀ること
- *4 神社の社殿等を囲む垣

シリーズ：
図書館めぐり

ようこそ中央図書館へ⑤

— 中央図書館は、地方自治体では最大規模の図書館です —



今回は、中央図書館「3階」を紹介します。3階には、郷土資料を集めた大阪コーナー、住宅地図や地形図などをそろえた地図コーナー、各種年鑑類や辞典等の調査研究コーナー、図書館学関連資料の図書館学研究コーナーがあります。また、全国の電話帳や新聞のバックナンバーもこのフロアにあります。

大阪コーナー

「大阪市史」をはじめ、郷土資料を積極的に収集保存。また、大阪市等が発行する行政資料を網羅的に収集保存しています。コーナー奥には開架式の書庫を設け、大阪関係の雑誌のバックナンバー等を配架しています。その他、大阪関係のビデオもあり、閲覧用のブース1台を設けています。

地図コーナー

大阪の古地図や地形図・住宅地図・道路地図から世界地図まで各種の地図があります。所蔵内容など詳しくは事前にお尋ねください。

調査研究コーナー

各分野の辞典・統計・年鑑類を配架しています。これらの資料を含め、図書館の蔵書や各種のデータを基に、様々な相談の調査回答を行います。コーナーの奥の開架式書庫には、官報・年鑑類のバックナンバーや新聞縮刷版を配架しています。

図書館学研究コーナー

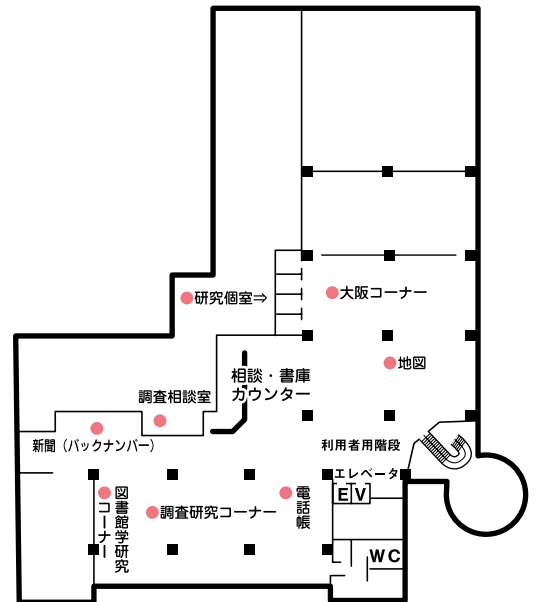
図書館学に関連する資料を配架しています。奥の書架には大学の紀要等をそろえています。

新聞バックナンバー

五大紙及び全国主要地方紙、スポーツ紙の原紙は8ヶ月～1年分を保存。縮刷版の他に、マイクロフィルムについては、五大紙の創刊時からの紙面が収録されています。利用者用端末（多機能OMLIS）では新聞記事索引のCD-ROM（毎日・日経・朝日各新聞）を使って記事検索が可能です。新聞の詳しい所蔵状況は事前にご確認ください。

研究個室

社会人の方の調査研究用に個室を4室設けています。内3室については1ヶ月前から予約ができます。



3階配架図

3階カウンターでは、色々な調べもののお手伝いをしています。仕事に必要な統計・データ等の調査から、身近な疑問まで様々な内容の質問が日々寄せられています。カウンターはもとより電話でもお受けしていますので、どうぞお気軽にご相談ください。(TEL 06-6539-3302)

ボランティアグループ紹介

福島区 りゅうの会



“特別養護老人ホーム福島ともしび苑”へ図書ボランティアとして何うようになって、4年が過ぎました。最初はお互いに、本をおすすめするにも遠慮があったり、借りられる方も急に言われてもという感があり、時間の経過を待っているような時もありました。残念なことは、入所者の体調も様々で、そのために多くの方とふれあえなかったことです。また、私たちも自分の役目を果たそうと気負っていたところもあり、物足りなさがあったこともいなめません。

そのうち写真集、大活字本、趣味の本、後には絵本などもおすすめし、貸出に努めました。一方、メンバーとも相談して少しずつ紙芝居をしたり、お話をしたり、短い文を読んだり、加えて歌大好きの私の申し出も入れてもらい、2～3曲の歌を一緒に歌い、合わせて身体も動かしていただけるようになりました。このようなプログラムで現在まで、グループで月2回(私は月1回)活動しています。

最初は挨拶の歌から始まるのですが、その時は眠っておられた方も中には身体で拍子をとっているようにも見受けられました。そこで、私たちももう一步ステップアップしたいと考えておりましたところ、初心者ピッタリの“ミュージックベル”という楽器に出会い、色々な方のご尽力を得て、ボランティアビュースペースで練習を始めることができました。一音ずつ奏でながら全員で一曲を完成させるという、簡単なようですが心の調和が必要なもので、そのために皆が仲良くなります。また、皆様にもふれて頂ける楽器ですので、私たちを含めお互いが楽しもうという目標に近づけるのではないのでしょうか。皆様と共にということを中心に、仲良く、無理をせず、そして一步先を見つけていきたいと思っています。

(福島区 りゅうの会 深見 喜久代 記)



第2回イラストコンテスト開催



「わたしの好きな図書館」をテーマに募集したイラストを地下1階ヤング・芸術コーナーに展示し、来館の利用者のみなさんに投票していただいた結果、下記の3作品が選ばれました。

今回は遠方の北海道からの応募もあり、応募数も前回は上回る36点もの力作が寄せられました。

第1位



「Meeting with a best book」
坂上 睦美

第2位



「大人も子どもも」
みやこし 巴(ともえ)

第3位



「ありがとう」
井守 真紀

*上記3作品ともポストカードに印刷し、中央図書館1階ライブラリーショップで販売しています。

図書館活用講座



レファレンスサービス ……ってなに？

あなたは図書館をどんなふうにご利用していますか。「お目当ての本を借りる」「CDやビデオを視聴する」「雑誌や新聞を読む」——それだけで図書館に満足されていますか。

図書館では本やAVの貸出しだけでなく、図書館の資料を使ってみなさまの質問にお答えしたり、調べもののお手伝いをしています。これがレファレンス・サービスです。

「なんだかむずかしそう」「本当に役に立つのかな」と疑問に思われている方、一度お試しください。日頃、解決できずにかかえていらっしゃる相談事はありませんか。

「こどもの頃に読んだ本だけれど、内容はおぼえているが、書名が思い出せない。もう一度読みたいのだけれど」

「病院でもらった薬の成分が知りたい」

「環境問題についてレポートを書くのに必要な本を探しているが」

「1960年代のファッションやその頃流行った社会現象が載っている本が見たい」

「取引先の会社の業績や組織について知りたい」

「外国人に日本語を教えているが、何かいいテキストはないか」

「XXという楽譜を探しているがどれに載っているかわからない」

「今は町名が変わっているが、むかしのミナミの詳しい地図が見たい」



日常生活のちょっとした疑問や、知識を深めるため、またビジネスのお手伝いに、レファレンス・サービスは役立っています。図書館には膨大な資料が所蔵されており、日頃目にされているものは、ほんの一部にしかすぎません。みなさまからの相談を受けると図書館員は、どんな資料が役に立つか、コンピュータで検索したり、本棚に走ったり、事典や統計類を調べたりします。すぐにお答えできるものもあれば、お時間をいただいております。その過程で、「こんな資料もあったのか」と図書館員も新たな発見をすることもたびたびです。図書館の資料の奥深さを実感するのはそんな時です。

また、当図書館にない資料は、国会図書館などの他の図書館の所蔵もお調べし、資料によっては取り寄せたり、大学図書館などへの紹介状もお出ししています。身近な図書館が窓口となって「知のネットワーク」が広がっているのです。

中央図書館では、各フロアに相談用のカウンターがあります。また、3階には調べものに役立つ辞書や事典・統計類などをそろえています。全国の電話帳や、過去の新聞の縮刷版、明治期からの新聞のマイクロフィルムもご覧になれます。電話でのお問い合わせにも応じています。どうぞお気軽にご利用ください。

電話でのお問い合わせは 06-6539-3302 をご利用ください。



■下期の主な予定【平成16年12月～平成17年3月】

図書館での今年度下期の開催予定のイベント等はつぎのとおりです。

日程など詳細は、大阪市広報、図書館のホームページ、ポスター、パンフレットなどでお知らせしますのでご確認ください。

| | | |
|--------|------------------------|---------------------------|
| ・中央図書館 | 12月8日(水) | 大阪市青少年読書感想文コンクール表彰式 |
| | 12月25日(土) | 子ども会「音楽と絵本を楽しむⅥ」 |
| | 1月17・24日 2月7・14・21日(月) | 古文書講座(初級編) |
| | 1月22日(土) | 人形芝居「ぬくぬく座がやってくる！」 |
| | 2月17日(木) | 大阪市読書感想画コンクール表彰式 |
| | 2月19日(土) | 国際交流フォーラム「モンゴル大草原のくらしと音楽」 |
| | 2月26日(土) | 子ども会 |
| | 3月13日(日) | 大阪市音楽団メンバーによる室内楽コンサート |
| | 3月26日(土) | 子ども会 |

このほか、毎月読書会(第2木曜日)を開催。
子ども向けおたのしみ会も、定例(月・水・第2・3土曜日)で開催しています。

・地域図書館 市内23の地域図書館でも、毎月さまざまなイベントを開催しています。
※詳しくは、各館の図書館報やお知らせをご覧ください。

■お知らせコーナー

「あなたにこの本を! 第14集」

大阪市立中央図書館では、読書週間(10月27日～11月9日)にちなんで、「あなたにこの本を! 第14集」(新書版56頁)を発行し、大阪市立の各図書館で無料配布しています。

第14集は、平成15年9月から16年8月までに、中央図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、市立図書館「あなたにこの本を!」選定委員会が推薦する96点97冊を収録しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々の読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選び、紹介しています。

この冊子をご希望の方は大阪市立中央図書館をはじめ、もよりの市立図書館へ直接ご来館いただくか、郵送希望の方は下記へ申し込んでください。

〒550-0014
大阪市西区北堀江4丁目3-2
大阪市立中央図書館利用サービス課「あなたにこの本を!」係

郵送先を記入した返信用封筒(90円切手を貼付した12×23.5cm大の定形封筒)を同封してください。

お問い合わせは、中央図書館利用サービス課
TEL 06-6539-3301まで

